

平成 28 年度

教育委員会の事務の点検・評価報告書

平成 29 年 8 月

始良市教育委員会

目 次

I	教育委員会点検・評価制度の概要等について	1
II	平成 28 年度教育委員会事務局の点検・評価について	3
	教育委員会事務局	
	(1) 教育総務課	3
	(2) 学校教育課	4
	(3) 社会教育課	5
	(4) 図書館	6
	(5) 保健体育課	7
III	教育委員の平成 28 年度点検・評価・意見・要望等について	8
IV	外部評価委員の平成 28 年度点検・評価・意見・要望等について	17
V	始良市教育委員会事務事業点検・評価シート	別冊
	【資料】	
	教育委員・外部評価委員名簿	30
	始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則	31
	始良市教育委員会外部評価委員会規程	32

I 教育委員会の点検・評価制度の概要等について

1 制度の概要について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度からすべての教育委員会が、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その実施に当たっては、学識経験者の知見活用を図るものと規定された。

また、その結果については議会へ報告し、市民に対して公表することも規定されている。（以下「条文抜粋参照」）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 始良市教育委員会の点検・評価の実施方針について

始良市教育委員会において、平成28年度に実施した事務事業の内容について、始良市の教育（教育行政要覧）の各課重点施策を基本に、評価項目を46の項目に分類する。事務事業自己点検・評価シートを作成し、教育委員会事務局内部で評価を実施した後、各教育委員の点検・評価を受け、その後、教育に関し学識経験を有する5名で組織する外部評価委員会を開催し、点検・評価実施後に、報告書を取りまとめる。

9月定例教育委員会での議決を経て、平成29年第3回定例会（9月議会）へ提出する。

また、報告書は平成29年10月以降に、始良市のホームページ等を活用して市民への公表を行うこととする。

3 評価点数結果及び各課の評価項目件数について（別紙 V 市教育委員会事務事業評価シート参照）

46 評価項目の合計評価点数は平均 4.6 点、始良市教育振興計画に基づく取組の着実な実施と、子育て基本条例に基づく社会全体の協働による子育て・人づくりのための具体的施策を展開した。

評価項目は、教育総務課 8 項目 学校教育課 12 項目 社会教育課 13 項目 図書館事務 4 項目 保健体育課 9 項目で、合計 46 項目である。

4 評価点数について

評価点数は 5 段階評価とし、以下のとおりとする。

評価	評価の基準等	目標等達成の目安
5	目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。	8 割～10 割
4	目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。	6 割～8 割
3	目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。	4 割～6 割
2	目標をあまり達成できず、成果が少なかった。	2 割～4 割
1	目標をほとんど達成できず、成果がなかった。	0 割～2 割

5 平成 29 年度の自己点検評価報告書作成スケジュール

日 程	内 容
6 月 12 日	定例教育委員会での外部評価委員委嘱の承認
7 月 21 日	第 1 回外部評価委員会の開催 (教育委員会自己点検評価結果報告及び外部評価の依頼)
8 月 16 日	外部評価委員からの回収
8 月 23 日	第 2 回外部評価委員会の開催 (外部評価結果のまとめ及び自己点検報告書(案)の策定)
8 月 31 日	自己点検・評価報告書の作成
9 月 8 日	定例教育委員会に点検・評価結果報告書の議案提出
10 月	市議会第 3 回定例会へ点検・評価結果報告書の提出
10 月	市民への公表 (市ホームページに掲載)

II 教育委員会事務局の点検・評価について

1 教育総務課

『教育委員会の活性化の推進』については、定例会開催日の固定化により、概ね委員全員の出席がなされ、臨時会については、時宜を逸しないよう努めた。3日前の資料配布により、事前検討がなされ、活発な質問や意見につながっている。条例・規則等の見直しに努め、制定・改廃等30件の審議を行った。今後においても、日常的に所管の教育行政の個々の課題等について、研究していきたい。

県・地区主催の研修会や市独自の研修への参加により、見識を深める機会となっている。特に県外研修においては、本市の課題点の整理と解決策の取組みを学ぶことができた。

職員研修については、さまざまな研修会への参加を促すとともに、年度当初の教育委員会の職員研修及び、夏季の学校司書・用務員研修を行った。人事評価制度は、職員のスキルアップという制度趣旨の理解を高めるために、今後も研修の機会を設ける必要がある。また、健康診断については、職員の健康に対する意識高揚のために、積極的な受診を促した。

外部評価委員の評価点は平均4・9点

『適正な財務事務の推進、良好な教育環境整備の推進』については、事務職員研修会の中で、財務会計システム操作や財務会計処理の仕方、帳票作成等を指導し、適正な予算執行に努めた。学校予算については、児童数の増加等必要性の高まりに応じた予算の確保に努める必要がある。

市内小・中学校の校舎、屋内運動場については、老朽化が進んでいることから、学校からの修繕要望が増える傾向にあり、限られた予算の配分に苦慮している状況である。施設の現況把握を行うための基礎資料作成や、他自治体の状況を調査研究することが望まれる。

外部評価委員の評価点は平均4・7点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 職員研修は、市役所全体の研修の他、年度当初の教育委員会の研修及び、夏季に学校司書および用務員研修を行った。各種健康診断は167名が受診した。
- (2) 学校事務共同実施連絡会議やブロック事務職員研修会を通じて、財務会計処理、備品管理システムの実務研修を行い、財務事務の円滑な執行に努めた。

- (3) 施設等の整備は、錦江・重富・山田・始良小学校校舎屋上防水工事や、西始良小学校屋内運動場屋根改修工事、重富小プールトイレ改修工事、重富中学校校舎内部および駐輪場屋根改修工事等を行った。その他、緊急性を考慮しながら、小学校 189 件、中学校 72 件の修繕を行い、安心安全な学校施設維持に努めた。

2 学校教育課

学校教育課では、28 年度に『規範意識を養い豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進』の三つを重点施策に掲げ、その充実に努めた。

『規範意識を養い豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』については、学校、家庭、地域で児童生徒の道徳性を育む事業の展開を図った。また、各小中学校の生徒指導上の課題、特に不登校の問題については、学校の指導が機能するよう相談活動や家庭環境の改善のための人的配置やネットワークづくりを行い成果が出てきている。

『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』については、学力向上に関する各種の事業の成果として、諸学力検査結果が県平均を上回った。26 年度からの取組として中山教育基金を利用した「スーパーサイエンス総合推進事業」においては、児童生徒の科学に対する興味関心を高める事業を展開・実施することができた。

『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進』については、特別支援教育の充実に努める中で、適切な就学相談、授業での児童生徒支援、支援の在り方を話し合う協議会の実施ができた。また、キャリア教育の推進についても協議会を開催し、その充実に努めることができた。さらに、管理職等の研修会を開催し、学校経営についての改善充実に努めることができた。

外部評価委員の 12 項目評価点は平均 4.6 点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 「モラリティ・インクルーブメント推進事業」で、蒲生中学校、漆小学校が実践発表を行い、保護者や地域の方々が多く参加し、道徳教育について、学校・家庭・地域の三者協働による推進が図られた。また、地域で育む道徳教育の一助として、小学生の各家庭に「始良市みんなのカレンダー」を配布し好評価を得た。
- (2) 「スクール・カウンセラー配置事業」や「スクール・ソーシャル・ワーカー実践研究事業」等の活用により、不登校等の問題に対して学校と家庭・関係機関との連携が密にとられ、ケース会議等を通じ組織的な対応をするなど

の細かな対応が充実してきた。保護者に対する相談活動や学校になじめない生徒のための一時的な居場所づくりも進み多面的な支援が充実してきている。

- (3) 教職員向けの各種研修会では、「教職員の指導力を向上させることで学力向上を図る」という基本的な考えに基づき多様な研修会を実施できた。今後は、管理職研修会の内容を、より関連づけたものとしていきたい。
- (4) 「スーパーサイエンス総合推進事業」では、リーダー養成など工夫した講座の展開や東京科学施設の視察、科学への興味・関心を高めるイベントである「サイエンスあいらんど」等の観察実験、講演といった実践的な活動をとおして、市内の児童生徒の科学的な見方・考え方を育てることができた。
- (5) 特別支援教育の充実として、特別な支援の必要のある児童生徒のいる小・中学校に特別支援教育支援員 42 名を配置し、研修会を開催することにより、適切な介助や学習支援等を行うことができた。また、市特別支援連携協議会により、各関係機関と連携を図り特別支援教育の充実が図れた。
- (6) 校長研修会では、教職員の資質向上や、地域とともにある学校づくりをテーマに、教頭研修会では、授業指導力の向上をテーマに実施し、学校の課題解決への取組や学校経営の充実に生かすことができた。

3 社会教育課

「あいら未来特使団」「A I R Aふるさと学寮」「A I R Aふるさとチャレンジ」などの事業により、普段の生活では体験できない多様で価値ある体験活動をとおして、青少年の自主性や協調性、社会性などを培う機会を提供することができた。

また、現代的な課題を考慮して趣向を凝らした講座の開催により、女性学級（あやめ学級）や高齢者学級（ゆずり葉学級）を実施した。

社会教育施設や公民館施設においては、自主講座・公民館講座の内容充実が図られるなど、良好かつ幅広く生涯学習を推進できた。

生涯学習フェアにおいては、公民館講座の学習成果発表やあいら未来特使団の活動事例発表、基調講演などを実施し、多くの市民の方々に成果の発表ができた。

芸術文化活動の振興では、児童生徒に本物の芸術を鑑賞できる機会を設けるとともに、始良 10 号美術展などの開催や各種団体の育成に努めた。

また、郷土愛の醸成や地域活性化を図るため、郷土芸能の継承など後継者育成に努めるとともに、埋蔵文化財の保存と開発の調整を図る必要がある。更に、文化財の保存活用のため、郷土の歴史と伝統を後世に伝え残す事業に取り組む必要がある。

外部評価委員の 13 項目評価点は平均 4.6 点

□各事業の主な成果と課題

- (1) 生涯学習リーダー研修会に積極的に参加を促し、スキルアップや資質向上が図られた。今後は、人材育成に努めるとともに、有効的な人材活用の場の設定に努める必要がある。
- (2) 「あいら未来特使団」「AIRAふるさと学寮」「AIRAふるさとチャレンジャー」等青少年育成事業が充実し、成果が上がった。また、女性のためにあやめ学級や高齢者のためのゆずり葉学級などもそれぞれテーマを持って開設しており、十分な成果を上げることができた。
- (3) スクールサポートボランティアコーディネーター（SSVC）事業においては、全小学校区にサブコーディネーターを、全中学校区にコーディネーターを配置し、また、家庭教育サポーターを5人配置して展開することができた。今後も、学校や地域と連携して事業の充実を図りたい。
- (4) 社会教育施設（椋鳩十文学記念館、北山野外研修センター、スターランドAIRA、蒲生ふるさと交流館、龍門陶芸・健康の里）や公民館施設（始良公民館、蒲生公民館、地区・校区公民館）では、施設・設備の維持保全に努めながら、充実した施設の運営が図られた。今後も利用者に対して、環境整備とともに職員の待遇を充実させ、きめ細やかなサービスに努めたい。
- (5) 児童生徒に対する芸術鑑賞機会の提供、文化協会や市立少年少女合唱団の育成、市文化芸術祭や始良10号美術展の開催など、芸術文化活動の振興・充実を図ることができた。
- (6) 文化財の保護と活用については、森山家住宅耐震補強・公開活用工事の実施、「蒲生のクス樹勢保護増殖計画書」の策定、島津家墓地の国指定史跡化に向けた実測・測量業務などを実施した。また、学校等では出前講座や史跡めぐりの実施、歴史民俗資料館や加治木郷土館では企画展や歴史講座を実施するなど、活用に努めた。郷土芸能の保存・育成では、郷土芸能保存団体17団体に補助金を交付し、後継者育成と保存活動支援を実施した。

4 図書館事務局

図書館サービス業務の充実では、平成28年度に移動図書館車の巡回箇所の増設やシネマウィークを新たに設定し映画を上映することで、市民への利用促進に努めた。読書活動の推進では、子ども読書日に合わせた事業である「ものがたりレシピをいただきます」を開催し、小中学生が読書に関心をよせる機会を提供した。今後も関係機関との連携を図り、充実に努めたい。

また、視聴覚ライブラリーの充実では、県視聴覚ライブラリーとの連携により資料確保に努めた。図書館システムの有効活用では、鹿児島県公共図書館横断検索を活用し、県立図書館や他市町村図書館と相互貸借によるサービスの充実に努めた。

外部評価委員の4項目評価点は平均4.6点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 図書の貸出状況としては、一般書及び児童書などで33万冊余り、子ども読書活動としてお話し会63回、ブックスタート事業31回を開催するなど図書資料の利用や読書活動の推進に努めた。
- (2) 視聴覚ライブラリーの利用実績は、機材及びビデオで利用者が4,600人余りであり、視聴覚教育の推進に努めた。今後も各種団体に対して広報の充実に努めたい。

5 保健体育課

生涯スポーツの推進については、市民の健康意識や仲間づくりを目的に各種のスポーツ大会等を実施した。学校体育保健関係では、児童生徒の健康診断事業や、学校安全体制の充実・児童生徒の体力向上に努めた。また、学校給食関係では、学校給食調理員のスキルを向上することにより、さらに安心・安全な給食運営の推進に資することができた。

外部評価委員の9項目評価点は平均4.5点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 各種スポーツ大会等は、一事業を除くと、天候の影響を受けることもなく事業を実施することができ、多くの参加者を得て開催することができた。参加者数は約4,700名であった。これからも、市民が参加できる大会の継続と広報の充実に努め、生涯スポーツの裾野をさらに広げていきたい。
- (2) すべての小・中学校で体力・運動能力調査を実施し、昨年度より上昇した。水泳記録会において、新記録1個、陸上記録会では、新記録7個、ダイ記録1個が誕生した。また、「体力アップ！チャレンジかごしま」において、市内の全小中学校で取り組み記録を申告した結果、県ベスト10に小学校4校、中学校3校がランクインし、学校賞を加治木中学校が受賞した。地域安全ボランティアやスクールガードリーダー等と十分な連携を図り学校安全体制の一層の充実が図られた。
- (3) 学校給食については、食中毒防止や異物混入等がないよう調理従事員・納入業者等を対象に学校給食衛生管理研修会の実施や栄養教諭等による食に関する指導等を行い、安心・安全な学校給食に努めた。さらに食に関する指導の推進では、「心を育む食育講演会」を開催し、家庭における食育の推進と地場産物の活用による食育の推進に努めた。

Ⅲ 教育委員の平成 28 年度点検評価・意見・要望等

教育総務課関係

(教育委員会の活性化の推進)

- ① 定例会・臨時会とも、適切な時期に開催された。
- ② 定例会は毎日 10 日前後に開催され、臨時会も適切な時期に開催されている。
- ③ 定例会・臨時会とも適切な時期に行われていた。
- ④ 事務局担当より議案等について分かりやすい説明がなされ質問や意見もあり審議されている。
- ⑤ 質問や意見が出され、十分に審議されている。
- ⑥ 資料は事前に届けられており、内容を検討して会に出席できた。
- ⑦ 事前に資料を届けて頂き、必要に応じて連絡もして頂いたので問題はありませんでした。
- ⑧ 毎回事前に資料を届けてくださり、留守の多い中、電話等の連絡もいただきとても有難かった。
- ⑨ いろんな研修会に参加させていただいて見識を深めることができた。
- ⑩ すべての研修に参加し知らない事を知る良い機会になり、今後の参考になった。
- ⑪ すべての研修会に参加し、自己の資質の向上にもなった。
- ⑫ 県外研修では、日程等の調整はとても難しかったと思われるが、余裕のある研修をお願いしたい。
- ⑬ 課別に内容もわかり易く、とてもよい研修だった。
- ⑭ 積極的に参加している。
- ⑮ 学校訪問、行事等について毎回参加しました。
- ⑯ 成人式は年々質の向上が見られる。
- ⑰ 各種行事等に積極的に参加している。
- ⑱ 学校訪問では、学校や職員・子どもたちの様子を身近に知ることができた。
- ⑲ 職員の資質の向上の為の研修は必要である。
- ⑳ 健康診断を受け健康管理の保持に努めて欲しい。
- ㉑ 市独自の研修も計画的に実行されている。

(適正な財務事務の推進、良好な教育環境整備の推進)

- ① 適切な予算執行が図られていると思う。
- ② 今後も計画的に推進してほしい。

- ③ 安心・安全な学校づくりを考え各学校の施設整備や修繕が必要な所を点検し、優先順位も考えた上で、迅速に対応がなされている。
- ④ 子ども安全を確保するため、可能な限りの研修に取り組んでいる。

学校教育課関係

(規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進)

- ① モラリティ・インクルーブメント事業の発表会では、参加者との交流が図られた。
- ② 今年度行なわれたモラリティ・インクルーブメント実践推進校の発表では、保護者、地域の方、地域以外の方もたくさん参加され活発な意見交換会も行なわれたことが良かった。
- ③ ハートフルあいらんどでの「ことばのいずみコンクール」で小・中・高生によるスピーチは自分の考えをしっかりとまとめ発表する姿に感動した。
- ④ 道徳教育について授業公開などを開催し子どもの道徳性を育むための地域や家庭の役割について考える機会を設ける取組を継続してほしい。
- ⑤ モラリティ・インクルーブメント実践発表は、授業・意見交換会ともによさかった。
- ⑥ 「ハートフルあいらんど」では、もっと多くの方に足を運んで欲しかった。とても感動した。
- ⑦ 不登校は本市の大きな課題の一つである。今後も継続的に取り組んでいく必要がある。
- ⑧ 児童・生徒が一人で抱えこまないように学校や家庭が連絡を密に図って配慮しながら対応していく支援を続けて欲しい。
- ⑨ 不登校児童生徒を減らすため、踏み込んだ対応をして欲しい。
- ⑩ 不登校児童・生徒・保護者にとっても適応指導教室は、学校復帰への一歩となれるように、学校・保護者・適応教室との連携をさらに密にして取り組んでいきたい。
- ⑪ 音楽会では、どの小中学校も音楽を楽しんでいる様子だった。
- ⑫ 人権教育・体験活動は社会性を身につける為にも必要なことなので続けて欲しい。
- ⑬ 集団宿泊学習では、体験活動を通して、様々なことを学ぶことができる。続けてほしい。
- ⑭ 先生方の指導力向上にもつながっている。
- ⑮ 学校の特色をいかした発表がなされた。音楽会での社会性も身につけられる場となっていた。

- ⑯ 幼・保・小連携により子供の実態を知る機会になり研修等を通してお互いの交流を深める場として必要。これからも研修会は続けて欲しい。
- ⑰ 今迄以上に幼保小連携を進めて欲しい。
- ⑱ 公立・市立が共に連携していくことは、小学校への円滑な接続を図るためにはとても必要なので、今後も続けて欲しい。

(能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進)

- ① 「確かな学力」定着のためには、教育委員会の指導が大切である。
- ② 学力向上に対する取組み（研修会、セミナー、講演会、研究公開等）を実施し、常に前向きに取り組んでいることが良く分かった。そして結果もついてきていると思う。
- ③ 定着度については平均では上回るが、学校ごとの差があるのが気になる。平準化ならびに上位者を増やす努力をして欲しい。
- ④ ブロックごとの小中連携の取組は、とてもうまくいっていると思う。
- ⑤ サイエンスあいらんどに、多くの参加者があり。始良市から科学に興味のある子どもたちが育っていくことを期待したい。
- ⑥ 理数定着支援員を配置し学力定着を図る取組みは、児童・生徒たちの学力向上の為に必要な取組みになっていると思う。
- ⑦ サイエンスあいらんどでは川口淳一郎先生によるサイエンストークや 20 ブースの実験教室があり、先生方とサイエンスリーダーの生徒により工夫をこらした実験が体験できて来場した人達がたくさん学んでいたの、これからも続けて欲しい。
- ⑧ より以上の理数・外国語教育の充実を望む。
- ⑨ サイエンスあいらんどでは、たくさんの親子が参加していた。サイエンストークの参加者の数が少なく気になったが、20 のブースでは、とても盛況だった。先生方や中・高生の参加がとてもよかった。理科をとて身近に感じられたと思う。
- ⑩ 特別な支援を必要とする子供は増えつつあるので、これからも厚い支援が必要である。
- ⑪ 特別支援を必要とする児童・生徒が増えているが、支援員を増員して配置し安全面や学習支援、身の回りの支援など対応して頂いていることに感謝しています。これからも資質向上を図り学校全体で共通理解を心がけて接して欲しい。
- ⑫ 保護者との連携も図って欲しい。(情報交換や悩み相談等)
- ⑬ 特別支援を必要とする児童生徒が増える現状の中で、適切な配置をお願いしたい。

- ⑭ 学校訪問において、支援員の活用を効果的になされていた学校が多く、配置人数も適切だった。
- ⑮ 就学相談の在り方はとても難しいとは思いますが、子どものためになるようさらに検討して欲しい。
- ⑯ 多くの学校で活用されている。
- ⑰ 中学生が職場体験することは、本人の成長にとって重要である。協力してくれる事業所がさらに増えると良い。
- ⑱ 職場体験学習においてたくさんの事業所の協力を得て中学生が体験できていることに感謝したい。将来を考える良い機会と思う。
- ⑲ 中学生の職場体験学習は充実してきている。
- ⑳ 小学生の職場見学なども、もっと推進して欲しい。
- ㉑ 中学校の職場体験学習は、社会体験の良い場になると思う。続けて欲しいです。

(児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり)

- ① 郷土愛・奉仕の心を学ぶ良い機会になっていると思う。
- ② 社会貢献の喜びを実感出来る取組みの推進を望む。
- ③ 郷土愛を育むよい取組である。
- ④ すべての校長がグランドデザインを作成し、学校経営方針を明らかにし、それに向かって努力している。
- ⑤ 各学校で特色ある取組を取り入れたグランドデザインが分かりやすく計画され経営の充実が図られている。
- ⑥ グランドデザインを学校・家庭が共有できるように努力して欲しい。
- ⑦ グランドデザインが各学校で計画され、学校経営の充実が図られていると思う。
- ⑧ 毎年、全学校・幼稚園を訪問することにより、直接、細やかな指導と情報交換ができています。
- ⑨ 毎年学校訪問を実施し、学校の様子・生徒の様子を知り指導助言を伝える場となっている。
- ⑩ さらに向上に期待します。
- ⑪ 学校訪問では、学校の様子、子どもたちの様子を見ることができ、良い点や改善点について話し合うことができています。
- ⑫ 小規模校特認制度は、大規模校と小規模校が混在する始良市にとって、いい成果をもたらしている。
- ⑬ 特認校、小規模校それぞれ魅力ある地域の特色を生かした素敵な学校なので、もっと多くの人たちに知ってもらい特認生が増える取組みをして欲しい。

- ⑪ 特認校のよさを伝える努力をして欲しい。

社会教育課関係

(社会教育の基盤づくり)

- ① 社会教育関係団体等の研修会や共催事業などにより、連携や育成ができている。
- ② リーダー研修会は指導者の資質向上を図る良い機会だと思う。
- ③ 市民が必要とする情報提供に努めて欲しい。
- ④ 諸関係団体との連携も図られており、活動も積極的になされている。

(青少年教育の充実)

- ① 充実した事業が実施されている。子ども会の加入率が課題である。
- ② 小・中・高生たちがチャレンジできる事業をたくさん企画されていて、体験活動を通して自主性や社会性を学ぶことはとても良い機会だと思う。
- ③ 子ども会の加入率が年々減少しているように思えますが、加入促進のための啓発活動も続けて欲しい。
- ④ 成人式は年々質の向上が見られる。それぞれの事業のさらなる充実を望みます。
- ⑤ 様々なチャレンジ事業による体験を通して、自主性・社会性を学ぶことができます。これからも続けてほしいです。
- ⑥ SSVC や家庭教育サポーターの活用により子どもたちへの支援活動が充実している。

(家庭教育・成人教育の充実)

- ① あやめ学級、ゆずり葉学級でたくさんの方が学んでいることに人と人とのつながりを感じ意欲も感じられるので、これからも楽しくいろんな講座を学んで欲しいと思います。
- ② 幼・小中学校において実施される家庭教育学級は参加人数の確保に毎年苦労しているとお聞きするので、学級生増加の啓発を工夫して欲しいと思います。(入園、入学前の説明会等で紹介する。)
- ③ 参加者を増やす努力をして欲しい。

(芸術文化活動の推進)

- ① 子どもたちに直接、芸術にふれることができる機会を与えることは、とてもよいことだと思う。
- ② 青少年劇場、芸術鑑賞、訪問演奏会については、本物を見る、知る良い機会なので今後も続けて欲しい。

- ③ 市立少年少女合唱団の定期演奏会を拝見しましたが、団員の歌声がとても素晴らしいものでした。
- ④ 文化芸術活動の振興は大切であるが、将来を見据え文化祭などの統合も必要と感じられる。
- ⑤ 青少年劇場、芸術鑑賞は、本物の芸術にふれるよい機会なので、続けてほしい。

(生涯学習の推進)

- ① 生涯学習フェアでは、講演の評判もよかった。
- ② 生涯学習フェアの内容は工夫され公民館講座で学んだものは素晴らしい作品が多かった。
- ③ 基調講演も山本博さんの貴重なお話が聞けました。

(社会教育施設の充実と利用促進)

- ① 各施設の活動にたくさんの市民の方が参加していることが分かる。利用者のことも考え、広報、PR活動をして続けてもらいたい。
- ② 各施設の事業をもっと広報して欲しい。

(公民館事業の充実)

- ① 公民館講座を多くの市民が参加していることは、とても評価できる。
- ② 公民館を年々利用する方々が増えていると思うので、利用する方が気持ちよく利用できるよう配慮して欲しい。
- ③ 校区コミュニティ協議会による公民館運営はうまくいっていると思う。

(公民館施設の充実)

- ① 利用する方々が多いので、整備に必要な所は環境管理をお願いします。

(公民館組織の育成)

- ① 蒲生町内13地区公民館での活動について支援が必要。

(指定文化財の保護・活用)

- ① 県内でも数多い始良市の文化財の管理、活用がなされている。これからも更なる対応が求められている。
- ② 多くの文化財の保護・整備など難しく大変かと思いますが、これからも管理に力を注いで欲しい。
- ③ 文化財についての広報として、家庭教育学級等で取り上げ学ぶ機会を作ると良いのではないかと思う。

- ④ 史跡や文化財の整備が進んでいるのはとても良いことですが、整備後の活用についても今後検討して欲しい。

(埋蔵文化財の保護・活用)

- ① 学校教材としての利用を進めて欲しい。

(郷土芸能の保存・育成)

- ① 郷土民芸・郷土芸能の伝承で後継者育成が大変かと思いますが継続されますように。

(施設の充実)

- ① いろいろな企画展を実施することは、市民へ、様々な情報を提供することになるので、これからも工夫して実施していきたい。
- ② 参加者を増やす広報等に力を入れてもらいたい。
- ③ 様々な企画を実施し、入館者や参加者が増加している。これからも続けて欲しい。

図書館事務局関係

- ① 講演会、夏休み図書館講座、展示、各種講座など企画され広報活動を行い市民の方々の参加も多数得ていると思う。
- ② 移動図書館車が各学校を回り子供たちが来るのを楽しみにしている姿が印象的だった。
- ③ 雑誌・スポンサー制度の周知に努めて頂きたい。
- ④ おはなし会や出前講座、読み聞かせ、ボランティアによる読み聞かせ等、子供たちにとっては本に親しむとても良い機会になっていると思う。
- ⑤ 子ども読書活動に携わる方々に感謝している。
- ⑥ 各活動が、前年より増えていることはすばらしい。より一層の充実に努めて欲しい。
- ⑦ 読み聞かせボランティアグループの方々に感謝するとともに、今後も子どもたちのために継続していただきたい。
- ⑧ 毎年多くの利用者があるので、利用拡大の充実に努めて欲しい。
- ⑨ 機材・教材の整理・整備が必要。

保健体育課関係

(生涯スポーツの推進)

- ① 生涯スポーツは、市民の健康増進・維持に欠かせない。

- ② 各大会に多くの方が参加しているので、体力作りも含め参加者同士交流も深めてもらえるよう継続して欲しい。
- ③ 参加者が増加しているので、継続して欲しい。
- ④ スポーツ推進委員の資質向上が図られていると思う。

(競技スポーツの充実)

- ① 平成 32 年度開催のかごしま国体に向けていろいろな取組がなされていくだろうと思いますが、今後準備、施設の管理等に努めてもらいたい。
- ② 今後も支援を進め国体へ対応してもらいたい。
- ③ 合宿誘致も続けてもらいたい。

(学校体育の充実)

- ① 学校では、体力・運動能力調査を実施し毎年分析している。これからも指導を継続し、子供の体力向上に努めてほしい。
- ② 体力・運動能力調査を実施し各学校ごとに分析、向上策を検討し学校全体で取り組んでいることは良いことだと思う。
- ③ 「体力アップ！チャレンジかごしま」においても各学校で取り組み成果が出ているので続けて欲しい。
- ④ 運動能力調査結果が全国・県より劣る部分が多く見られる。強化すべき体力要素を高めるために改善が必要と思う。
- ⑤ 教職員対象の実技研修会の実施により、各学校の教職員の資質向上に役立てて欲しい。

(学校保健の充実)

- ① これからも子供たちの事故がないよう、最善の努力を続けていきたい。
- ② 地域安全ボランティアやスクールガードリーダーの方々の見守りで登下校の安全が図られていることに感謝している。
- ③ できれば子供たちだけでなく、保護者の方々にも見守りをしてくださる方々を紹介する機会があるといいなと思う。(重富小では運動会で地域の方や保護者に見守り隊の方々を紹介していたので、顔を知ってもらう良い機会だったと思う。)
- ④ 各学校・校区等の危機管理マニュアル等を共有していただきたい。
- ⑤ 地域安全ボランティアの方々の登下校での見守りについて深く感謝したい。

(学校給食の充実)

- ① 食物アレルギーに対する統一した取り組みにこれからも油断せず続けてもらいたい。

- ② 栄養バランスのとれた献立で、毎日おいしい給食を作って下さり感謝です。
- ③ 今後も安心安全な給食の提供に努めて頂きたい。
- ④ 食物アレルギーの児童・生徒への配慮など、これまで同様に取り組んで欲しい。
- ⑤ 調理員のスキルアップ研修は必要である。
- ⑥ 食育講演会や食に関する指導はとても重要であると思う。
- ⑦ 食育講演会への参加者を増やして欲しい。
- ⑧ 授業による指導もこれまで以上に実施して欲しい。(食育について)
- ⑨ 衛生管理や調理員の健康管理は大事なことなので、意識高揚に努め資質向上も継続してもらいたい。
- ⑩ より以上の調理員のスキルアップを望む。
- ⑪ 健全な給食運営を今後も期待する。
- ⑫ 給食費の未納状況を市内全校で共有し減少に努めるべきと思う。

IV 外部評価委員の平成 28 年度点検評価・意見・要望等について

教育総務課関係

(教育委員会の活性化の推進)

- ① 定例会・臨時会とも適切な時期に開催されている。
- ② 定例会・臨時会、規則に定められた日に開催されている。
- ③ 回数、時期共に適切に開催されている。
- ④ 事務局から分かりやすい説明がなされ質問や意見もあり十分に審議されている。
- ⑤ すべての議案、報告が議決承認され、活発な意見交換がなされている。
- ⑥ 議案が十分に審議されていることは評価できる。
- ⑦ 活発に審議・運営されており信頼している。
- ⑧ 後期「始良市教育振興基本計画」が策定された。
- ⑨ 「始良市教育振興基本計画」が策定され大変評価したい。
- ⑩ 事前に資料が届けられ、事務局との連携が十分になされている。
- ⑪ 事前に資料配布され教育委員と事務局との連携がうまくいっている。
- ⑫ 十分な審議が行える様、委員と事務局のスムーズな連携がうかがえる。
- ⑬ 研修会にも参加されて、資質向上にも努めておられる。
- ⑭ すべての研修に参加され教育委員の資質向上に努めてほしい。又、積極的な取組みを期待します。
- ⑮ 全委員、全研修参加を希望する。
- ⑯ 特に県外研修は新しい情報等を得られるよい機会なので、積極的に取り組んでほしい。
- ⑰ 研修で得た事は深く研究し、広く活かしてほしい。
- ⑱ 学校訪問、行事等について、毎回積極的に参加され、熱心な意見交換がなされている。
- ⑲ 毎年の学校訪問は、学校の様子が如実に把握できるので、大変有意義に思う。
- ⑳ 各種行事に参加されている。大いに評価したい。
- ㉑ 各種行事等で委員にお会いするが、関心を寄せて下さり感謝する。
- ㉒ 学校訪問では、いじめや不登校問題は特に対応して頂きたい。
- ㉓ 学校現場の意見は、今後も引き続き細かい意見も、耳を傾けてください。
- ㉔ 教育委員会職員研修会も行われ、職員の資質向上に向けた取組みがなされている。
- ㉕ 職員の資質向上や健康面には特に気を付けて頂きたい。
- ㉖ 市独自の研修に数多く取り組んでいる。
- ㉗ 身体が資本。心身共に健康管理に留意してほしい。

- ⑫ 職員の健康管理・健康チェックが適時に実行されている。職員が一息つける休憩室があっても良いのでは。

(適正な財務事務の推進、良好な教育環境整備の推進)

- ① 危機管理に向け、AED機器の点検も行われている。
- ② 校務の効率化に向けて教職員用のパソコンも更新されている。
- ③ 適正な予算執行が図られている。
- ④ 指摘事項もなく適正な予算執行が図られている。
- ⑤ 児童生徒の安心・安全な学校施設維持のための取組みが進められている。
- ⑥ 児童生徒が安心・安全な環境で学べるよう対応がなされている。今後も予算のゆるす限り対応して頂きたい。
- ⑦ 学校施設の整備、修繕等は予算等もあると思いますが、急いで欲しいと思います。
- ⑧ 整備・修繕も急ぐことはあるが、教室の夏場の熱中症対策（児童生徒・教職員）も急務かと思う。劣悪だと感じる。
- ⑨ 点検を実施され、順次適切に処理されている。

学校教育課関係

(規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進)

- ① 学校・家庭・地域が、協働して子どもの道徳性を育むための取組がすすめられている。
- ② 「始良市みんなのカレンダー」も作成されて配布された。
- ③ 「ことばのいずみコンクール」での小・中・高生のスピーチは、表現力を高めるよい取組である。
- ④ モラリティ・インクルーブメント推進事業は今後も継続して頂きたい。
- ⑤ 実践発表後、地域における取り組みに格差を感じる。
- ⑥ ハートフルあいらんど「ことばのいずみコンクール」の動員で課題。
- ⑦ 郷土を知り、郷土を愛する心を育むことに力を注いでほしい。
- ⑧ 学校―家庭、学校―地域は、協働していると思うが、家庭（保護者）―地域の結びつきが浅く感じる。
- ⑨ 実践発表の様相を録画し、他の学校の児童・生徒に視聴してもらえる機会があれば、有意義な学習交換ができると思う。
- ⑩ スクールソーシャルワーカーの配置により、3分の1の改善があったことは評価できる。今後も支援の継続をお願いしたい。
- ⑪ 不登校児童生徒のためにスクーリングサポート事業が進められており、学校に通えるようになった生徒も複数出ている。今後も学校復帰に向けた支援をお願いしたい。

- ⑫ 不登校や悩みを持つ児童生徒の対応に大変苦勞されているが、学校復帰に向けた取組が十分なされている。
- ⑬ 不登校児童生徒は今後も増加が予想される。早い段階（小学校）からの保護者への学習の場、啓発をして欲しい。
- ⑭ 悩みを持つ児童生徒の環境は多種多様である。特に不登校の対応は柔軟にいろいろな策を講じる必要がある。
- ⑮ スクールソーシャルワーカー3人配置とのことだが、充分であるのか疑問だ。
- ⑯ 家庭以外に居場所があることは有難い。一方家庭訪問によるアプローチや屋外活動を通してのコミュニケーション等あらゆる支援をお願いいたします。
- ⑰ 各学校において、人権教育に係る研修も適切に進められている。
- ⑱ 小・中合同音楽会も開催され、情操教育につながっている。
- ⑲ 集団宿泊学習・総合的な学習によって、児童・生徒の協調性・自主性・郷土愛が育まれていると思う。
- ⑳ 子どもたちへの「正しい理解」の為の人権教育は日常生活と直結した指導計画をお願いしたい。
- ㉑ 集団宿泊学習は保護者からも「子どもが変わる」と聞く。学校では学べない、いろいろな事を学ぶ場となっている。
- ㉒ 集団宿泊学習や得意分野の挑戦は、新しい自分の発見に繋がると思うので、大いに進めて下さい。
- ㉓ 幼・保・小連携により接続を大切にした取組もなされ、お互いの交流を深める場となっている。
- ㉔ 幼・保・小連携研修は幼児教育の充実には大事だと思う。今後も継続してもらいたい。
- ㉕ 幼児教育はもっとも大切な事だ。
- ㉖ 教諭の更なる資質向上を望む。この時期、保護者教育も是非担ってほしい。
- ㉗ 幼・保・小連携により偏りのない教育提供に努力されている。今後も、子供たちを明るく元気に導いてください。

（能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進）

- ① 教育講演会や指導力向上セミナーの開催により実践的な研修が進められている。
- ② 全国学力・学習状況調査や県の学習定着度調査の結果においても、ブロックごとの取組の成果が出ていると思う。
- ③ 今後も新しい教育課程に対応した授業改善を進めてほしい。
- ④ 学力向上の為先生方も研修会や講演会等に参加頂き、確かな学力の定着のため頑張ってもらいたい。

- ⑤ 中学校を軸とした合同研修会は、情報交換の場として、今後も引き続き行って欲しいです。
- ⑥ 「学力向上」先生方の本来の務めに、多くの方が積極的に取り組んでいることを評価する。先生方がこの「確かな学力」の定着の為に一番力が注げるよう教育委員会のバックアップをお願いしたい。
- ⑦ 広い視点に立ったよい学習の機会が提供されている。基礎的部分の不理解がないようによろしくご指導下さい。家庭では、学校からの連絡プリント等の見落としがないように心掛けることが大切である。
- ⑧ 理数定着支援員の配置により、小学校での理数の学力定着につながっている。
- ⑨ サイエンスあいらんどでの川口淳一郎先生のサイエンストークや20ブースの実験教室など、科学への関心を高める工夫された充実した教室が開かれている。これからも続けてほしい。
- ⑩ 理数・外国語教育は今後大事だと思う。指導の充実を図ってもらいたい。
- ⑪ スーパーサイエンス総合推進事業は大変魅力ある事業だ。サイエンスリーダーのその後も知りたい。
- ⑫ 国際交流に必須の外国語、あの手この手で取り組んで下さい。全教職員に必要と思う。
- ⑬ 理数・外国語教育推進事業（中でもサイエンスあいらんど）は定着した感じがあり、よい成果を生んでいる。一方、国語・社会の分野に興味を持つ子供たちへ（〇〇あいらんど）的な面白い授業の提供に期待する。
- ⑭ 合理的配慮への対応など各学校における特別支援教育コーディネーターの役割は大きくなると思われるため、実践的な研修を更に充実させてほしい。
- ⑮ 支援員の配置により、児童生徒の安全の確保や学習支援が効果的に行われつつある。
- ⑯ 就学相談も実施されているが、更に見通しをもった就学指導を進められるように充実を図ってほしい。
- ⑰ 特別支援教育の支援員の研修を深め、安全の確保や学習支援などが効果的に行われた。今後も継続してもらいたい。
- ⑱ 小・中学校の特別支援の体制は充実していると感じます。特別支援を必要としている保護者は、小・中学校卒業後の不安を抱えています。そのような保護者向けの進学研修等の機会があったらいいと思います。
- ⑲ 支援員のメンタル面のフォローは必要である。学校全体、学級担任との連携は必須。支援員の配置が充分でない学校があるのではと思う。
- ⑳ 支援員は、高度な専門知識も必要で難しい仕事でしょうが、今後も各々相談者への適切な対応とアドバイスを、又、保護者との連携を図り拠所として、良い状況へ導いて下さい。

- ⑳ ICT 機器については、デジタル教材のデータベース化など更に有効な活用を期待したい。
- ㉑ ICT機器の授業で学力が向上することを期待する。
- ㉒ 効果的な活用を推進してほしい。
- ㉓ 職場体験は、生徒が職業観を身に付けるよい機会でもあり、協力してくれる事業所がさらに増えることを期待したい。
- ㉔ 職場体験において職業を考える機会になると思う。今後も事業主の協力を得ながら推進して頂きたい。
- ㉕ 中学生の職場体験の事業所が増えている事は、様々な事業所の理解が広がっているのだと思える。
- ㉖ ご協力いただける事業所も毎年増える傾向で有難いことである。
- ㉗ 本事業は、学校・家庭・地域・事業所総ぐるみの子育て支援の一環で、大変良い実践教育だと思う。

(児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり)

- ① 郷土の素材を教材化し、体験活動を取り入れ、郷土愛や奉仕の心を学ぶ良い機会になっている。
- ② 小学校では郷土教育の活動が行われている。
- ③ 単に学習で終わることなく、郷土愛に繋げてほしい。
- ④ このような教育こそ、未来に担う頼もしい子どもたちが育っていくだろうと思う。
- ⑤ 各学校で特色あるランドデザインが計画されて経営の充実が図られている。
- ⑥ 今後も作成されたランドデザインを学校・家庭で共有し充実した取組につなげてほしい。
- ⑦ 学校評議員制度により、児童生徒の実態や学校の運営や問題・課題等公表されて学校の様子が良くわかる。
- ⑧ 学校訪問により、各学校の経営状況や学校の様子、子どもたちの様子を見て、良い点や改善点について指導助言がなされている。
- ⑨ 学校関係者評価、評議員会は学期に1度開かれたらと思う。(年3回)
- ⑩ 一校一自慢、児童・生徒が一体となって取組めるものを掲げ、子供たちの自主性を伸ばして下さい。
- ⑪ 教育事務所との合同訪問を計画的に実施している。学校の実態がわかるので、評価する。
- ⑫ 元気でやる気のある先生方と育てて下さい。
- ⑬ 学校訪問で子どもの様子を把握でき、改善策を講じるよい機会となっている。
- ⑭ しっかり運営されていると思う。

- ⑮ 現場に支障の無い頻度で進めて欲しい。
- ⑯ 特認生が増えているとのことで、評価できる。更に特認校のよさを伝える努力をしてほしい。
- ⑰ 小規模校のよさを生かした特色ある教育活動を今後も続けてほしい。
- ⑱ 小規模校の特認校制度の導入で、学校・地域の活性化になっている。
- ⑲ 特認校の取り組み、良さはさらに周知して行って欲しい。特認校に通学させる保護者が学校に関りやすさの工夫や配慮も今後必要になってくると考えられる。
- ⑳ 小規模校には学ぶところが沢山ある。三者協働の理想形。
- ㉑ 集合・交流学习の機会を備えて頂き、子供たちは新たな学びができていると思う。特認校以外の子供でも体験できる機会があるとよい学びが得られると思う。

社会教育課関係

(社会教育の基盤づくり)

- ① 社会教育関係団体等の研修会など指導者の資質向上に向けた連携ができている。
- ② 今後もホームページの更新等、情報提供をお願いしたい。
- ③ 生涯学習リーダー研修会にもっと多くの参加者が出席して頂きたい。
- ④ 市おやじの会への支援も具体的に考慮していただきたい。
- ⑤ 子ども会からの脱会が増え続けている。子ども会の再編等含め手だてをして欲しい。
- ⑥ 幅広い社会教育事業、指導者の資質向上も求められるし、各種関係団体との連携は強化されなければならないと思う。
- ⑦ 職員のスキルアップ、指導者研修、各団体への支援等大変評価できる。
- ⑧ 社会教育委員の活動が“眼に見える化”してきていると感じる。提言の具現化が適切に図られている成果と思う。

(青少年教育の充実)

- ① 様々なチャレンジ事業による体験活動を通じ、子どもたちの健全育成が図られ、自主性や社会性が育かれている。
- ② 今後もこれらの事業の充実をお願いしたい。
- ③ 成人式は実行委員会主催で、始良市独自ですばらしい。
- ④ A I R Aふるさと学寮は青少年にとっては家庭のありがたさが分かるので、すばらしい事業だ。
- ⑤ 様々な事業での参加者が、今後増えるよう願います。

- ⑥ 子ども会未加入は保護者の問題と見る。
- ⑦ 魅力ある事業が行われている。
- ⑧ 家庭教育サポーターの活用を一考されたし。
- ⑨ 青少年教育は、多種多様な事業を通して充実してきている。体験学習を伴う育成が最も有効と思うので、今後も機会の提供と指導者の研修を続けて下さい。

(家庭教育・成人教育の充実)

- ① 家庭教育学級の開催や女性学級、高齢者学級など様々な取組がなされ、情報交換が図られていると思う。人権教育も様々な場面で、取り組まれている。
- ② すばらしい講座が展開され、生きがいづくり、仲間づくりになっている。
- ③ 子育て手帳の活用を充実させたい。
- ④ 「生きがい」となる成人教育がなされている。
- ⑤ 家庭教育学級は、学級長を中心に自由な発想で取組まれてよいと思う。年間計画の段階で、家庭教育サポーターのアドバイスを頂くのもよいのかと思う。

(芸術文化活動の振興)

- ① 直接、芸術に触れることのできる機会が多くよい取組みである。
- ② 発表する機会も多いように思う。
- ③ 三町が合併して始良市になったのだから文化祭は一緒に出来ないのか、経費の節約になると思う。
- ④ 各支部文化祭は、いかなる状況になろうとも残していかなくてはならないと思う。市からの支援は、維持する大きな力となっている。
- ⑤ 子どもたちに本物の芸術にふれる機会を多く提供してもらいたい。
- ⑥ 始良市文化協会の活動を支える3支部の体力低下が現状にあり苦慮している。支部の衰退は、全体の衰退にも繋りかねない。若年層、自主活動グループへの声かけを行っているがなかなかである。今年度の支部文化祭では1人1役裏方の役割を全員で担うことにした。やってみて次どうするかが見えてくるだろう。相互協力の下、魅力ある文化の発展に努力してもらいたい。

(生涯学習の推進)

- ① 生涯学習を考える際、山本博氏の講演は多くの人に参考になったと思う。
- ② 広報は十分なされているが、市民の関心度が低いのが残念だ。
- ③ 市民が楽しく生きがいを持って取り組める生涯学習をすすめて下さい。
- ④ 内容もよく参加者も子供から大人まで、よい企画である。すべての参加者がこの一日を共有するのに意義がある。交代ででも学校に呼びかけ児童・生徒の皆さんに本フェアで生涯学習のヒントを見出してほしい。

(社会教育施設の充実と利用促進)

- ① 各施設で、様々な工夫がなされた事業が進められており、たくさんの方が参加されている。今後も更に広報活動をお願いしたい。
- ② 社会教育の施設がたくさんあり、多くの利用者があり、ありがたい。
- ③ 始良市には文化・芸術・科学・文学の素晴らしい施設があるということを改めて思うことだった。
- ④ それぞれが運営に努力していることが参加状況からもうかがえる。
- ⑤ 前年の状況を踏まえ、前進した活動運営がなされていると思う。利用者数も増加しており努力されている。

(公民館事業の充実)

- ① 校区コミュニティ協議会における公民館運営などについては、計画的に進められている。
- ② 公民館施設の利用者が増加して素晴らしい。
- ③ 公民館運営審議会での提言も十分に生かしてほしい。
- ④ 講座の充実で利用者も更に増えることだろう。
- ⑤ 講座開設に向けて短い期間に資料等きちんと準備なさりご苦労様でした。開講式の有無について、一同に会することの意義は大いにあると思うが、諸観点から見て、決めてくだされば良いと思う。

(公民館施設の充実)

- ① 必要な修繕等が適宜行われており、安全で利用しやすい環境に整えられている。
- ② 校区公民館は良く整備され利用しやすい。
- ③ 加治木、蒲生地区にも利用しやすい地区公民館が欲しいものです。又はコミュニティ公民館をもっと利用しやすくしてほしい。
- ④ 多くの市民が集う場所である。きれいに安全に過ごしやすい環境整備をお願いします。

(公民館組織の育成)

- ① 適切な公民館組織の支援が行われている。
- ② 公民館の活動実績に対して補助金はありがたい。

(指定文化財の保存・活用)

- ① 蒲生のクス樹勢保護増殖計画書(案)など、文化財の管理、整備が適切に進められている。
- ② 整備後の文化財の活用も充実させてほしい。

- ③ 始良市には多くの文化財・史跡があり管理もなされている。費用もかかると思うが今後もよろしく願います。
- ④ 文化財の維持管理は大変な事業であろう。
- ⑤ 郷土を知る資料として史料はもちろんマップ、パンフレットも大いに活用してほしい。
- ⑥ 地道な調査。研究に努めていただき、郷土の保護文化財・史跡巡り等も楽しくできている。町おこしに大いに役立っていると思う。ガイドの方々も頑張ってください。

(埋蔵文化財の保存・活用)

- ① 開発に伴う多くの埋蔵文化財包蔵地照会があり、埋蔵文化財包蔵地の管理の大変さを感じる。今後、学校教育でも活用を進めてほしい。
- ② 埋蔵文化財の発掘は大変な事業だと思う。市の遺産でもありますので、調査を楽しみにしています。
- ③ 次々と出土することに驚きです。調査等宜しく願います。

(郷土芸能の保存・育成)

- ① 各郷土芸能の保存・伝承のための後継者育成をお願いしたい。
- ② 少子高齢化が進む中、郷土芸能保存は大変頭を痛めているのが現状。後継者育成と活動のため補助金が交付されているので頑張ってもらいたい。
- ③ 後継者の育成を急いで欲しい。
- ④ 郷土芸能保存団体は現状維持することで精いっぱい、後継者育成までは及んでいないと感じる。
- ⑤ 17団体の郷土芸能の存続・継承への支援を引き続きお願いいたします。文化祭・文化芸術等への出演は考えられるものですか。

(施設の充実)

- ① 様々な企画を実施することにより、参加者が増えていることは評価できる。
- ② これからも広報等により、情報提供をお願いしたい。
- ③ 歴史民俗資料館、加治木郷土館、吉原事務所は一つの敷地・建物に集約できないか。
- ④ 学校に大いに利用してもらいたい。
- ⑤ 企画内容によっては参加者数に大きな差があるが、広報にもっと力を入れ、工夫もする必要がある。
- ⑥ 今後とも市民・子どもたちの学習や教育の援助をお願いいたします。

図書館事務局関係

(図書館のサービス業務と読書活動の充実)

- ① 著名人の講演会など企画され、市民の方々も参加しやすい雰囲気ができている。
- ② 加治木の図書館は狭いのでは。施設の増築は？
- ③ 読み聞かせ活動など子どもたちにとっては、本に親しむ大変良い機会であるので、一層の充実をお願いしたい。
- ④ 魅力あるテーマの展示・講演・講座が開かれている。
- ⑤ 市民には概ね満足されていると思う。図書館協議会にも期待している。
- ⑥ 新しいサービスを次々に実施されています。市民が身近に感じることが出来る場所だと思います。
- ⑦ 学校司書との連携は大切。
- ⑧ 様々な活動内容があり努力がうかがえる。新しい発想もほしい。
- ⑨ 読書は未知との遭遇です。私どもも家庭で読み聞かせや紙芝居をしますが、束の間のゆとりに繋がりますね。
- ⑩ 機材・教材の整理・整備とともに、広報活動を行ない。視聴覚ライブラリーの紹介をしてほしい。
- ⑪ 今後、利用が増えていくことを願います。
- ⑫ 機材利用が減っているが、整備が必要ということだろうか。
- ⑬ 市民のニーズや社会情勢の変化に応じた視聴覚ライブラリーの充実は必要だと思います。

(始良市図書館ネットワークの充実)

- ① 市民に図書館システムによるサービス機能の周知をぜひ図ってほしい。
- ② 引き続きサービス機能の周知を図ってほしい。

保健体育課関係

(生涯スポーツの推進)

- ① スポーツ活動を通じ、市民の健康増進・維持につながる様々な大会が企画され、多くの方が参加している。
- ② スポーツ活動を通じ健康増進や親睦を深める為には、大会・教室・講座は必要である。多くの参加を期待する。
- ③ ニュースポーツの普及が不十分。
- ④ 大人も子どもも一緒に楽しめるような活動が多くほしい。
- ⑤ いつでもだれでもどこでも参加し易いのがスポーツでしょう。今後も市民が楽しめるスポーツを計画して下さい。

- ⑥ スポーツ推進委員の資質向上が図られていると思う。
- ⑦ スポーツ推進委員は各研究大会で得た知識を市民に広げ、軽スポーツ・生涯スポーツ普及に役だてて頂きたい。
- ⑧ スポーツ推進委員の皆さんを地区で周知させ、いろいろな場で指導を仰ぎたい。
- ⑨ よい取組みをされていると思います。

(競技スポーツの推進)

- ① 今後も競技や施設への支援を進め、インターハイや国体に向けた対応を進めてもらいたい。
- ② 社会人チームの合宿も今後誘致を続けてほしい。
- ③ 始良野球場に県外からの大学や社会人の野球部・ソフトボールが合宿で地元の活性化につながりとても素晴らしい。
- ④ スポーツ少年団の指導者や育成者の研修会は毎年1回行われていて、子ども達とのかかわり、接し方、指導法など大変良い勉強になる。
- ⑤ スポーツ少年団の体力テスト・交歓大会が毎年実施されて、子供達の体力の実態、交流が図られている。
- ⑥ スポーツ少年団の指導のあり方、地域行事と試合等のバランスを指導者が考えて欲しい。地域行事に指導者も一緒に参加するような研修を行って欲しい。
- ⑦ スポーツ少年団員＝小学生という認識がされているように思う。
- ⑧ 指導者育成は、継続させていくのに必須事項であるので、その意味でも少年団活動を広げてほしい。
- ⑨ 始良市が合宿地として選ばれることは大変喜ばしいです。かごしま国体も楽しみですですね。

(学校体育の充実)

- ① 各学校で、調査結果を基に、向上策を検討し、学校全体で取り組み成果が出ている。
- ② これからも指導の継続をお願いしたい。
- ③ 教職員対象の体育実技研修会等も利用し、教職員の資質向上につなげてほしい。
- ④ 「体力アップチャレンジかごしま」ベスト10に7校がランクインした。とても喜ばしい。
- ⑤ 部活顧問研修会が実施され、運営、メンタルトレーニング方法について、講話、実技があった。今後の指導に役立ててもらいたい。
- ⑥ 体力テストは年2回が必要と思う。

- ⑦ (分析の前に) 児童生徒自身が自らの体力の状態を知り、目標をめざし、伸ばしていくことが大切 (PDCA)
- ⑧ 体力運動能力調査を活して、よい方向に導いて下さい。

(学校保健の充実)

- ① 地域安全ボランティアやスクールガードリーダーの方々の見守りにより、子どもたちが、安全に登下校できていることに感謝したい。
- ② 今後も、各学校・校区等の危機管理マニュアル等を共有していきたい。
- ③ スタントマンを活用した交通安全教育など、危険性をアピールした授業も実施され、注意喚起につながった。
- ④ 小学生の登下校時、地域の方々のボランティアで見守って下さってとても有難い。
- ⑤ 地域安全ボランティアやスクールガードリーダー等の、後継者の育成も考えなければならない時期となってきているように感じます。
- ⑥ 地域安全ボランティアは地域格差があるのではないか。
- ⑦ 通学路に関して不十分な箇所も多くある。まずは、子どもの「いのち」に言及してほしい。
- ⑧ 今後、実践的防災教育に力を入れる必要がある。
- ⑨ 業務内容が多岐に渡る分野でしょうが、今後とも子どもたちの安心安全対策を計画的に遂行してください。

(学校給食の充実)

- ① 食物アレルギーに対応した取組や栄養バランスのとれた献立の給食調理に感謝したい。
- ② 今後も安心安全な給食を油断せず、お願いしたい。
- ③ 食中毒発生が0件であることは当然のことだが、それ以上に衛生管理に注意を払っていることに敬意を表します。
- ④ 今後も安心安全な給食づくりに頑張ってください。
- ⑤ 食中毒はあってはならないこと。管理者・関係者の努力に感謝する。
- ⑥ 管理・運営等大変でしょうが、引き続き安心安全にご留意下さい。
- ⑦ 今後も調理員のスキルアップにより、食に関する指導の充実をお願いしたい。
- ⑧ 子どもたちの心を育むための食育に関する講演会は大切であると思う。
- ⑨ 「食」の基本は家庭であろうが、食の専門家からの指導は子どもたちにとっては大切な事である。
- ⑩ 日常的な食について改めて考える時間を設けることは良いことである。
- ⑪ 毎日調理する上での衛生管理体制の整備と調理従事員の意識を高める努力を継続してほしい。

- ⑫ 適正な給食運営について、栄養教諭等とも連携を図り、食育の推進を図ってほしい。
- ⑬ 意識の高い調理員を望む、と同時に働く環境にも気を配ってもらいたい。
- ⑭ 宜しくご配慮下さい。
- ⑮ 給食費の未納があるとよく耳にするが、対応策は？（保護者に問題があると思う。）
- ⑯ 給食費未納者への対応を、運営委員会、センター、保健体育。
- ⑰ 給食費未納により給食内容に学校格差は生じていないか危惧する。
- ⑱ 細かい計算が多い業務かと思うが、子どもたちの健全育成の為にもがんばって下さい。

始良市教育委員会外部評価委員

番号	氏名	役職等	備考
1	原口 和哉	加治木高等学校長	学校教育
2	中森 春志	始良市スポーツ少年団副本部長	社会体育
3	吉川 成子	市文化協会副会長	芸術文化
4	馬場 修二	市PTA連絡協議会会長	PTA連絡協議会代表者
5	三月田 淳子	元始良市教育委員	教育委員会が必要と認める者

始良市教育委員

番号	氏名	役職等	備考
1	川畑 逸郎	教育委員長	
2	百武 美津代	教育委員代理者	
3	中間 博英	教育委員	
4	岩元 真美	教育委員	
5	小倉 寛恒	教育長	

始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則

平成22年3月23日教育委員会規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び時期)

第2条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第3条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。）は、前条第1項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(教育に関し学識経験を有する者の知見の活用)

第4条 法第27条第2項の規定に基づき、点検及び評価を行うに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置するものとし、必要な事項は、別に定める。

(議会報告等)

第5条 始良市教育委員会は、評価委員会からの答申を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、始良市議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

(庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年3月23日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱（平成21年加治木町教育委員会要綱第1号）又は教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成21年始良町教育委員会規則第1号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

始良市教育委員会外部評価委員会規程

平成22年3月23日教育委員会訓令第4号

(設置)

第1条 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則(平成22年始良市教育委員会規則第5号)第4条の規定に基づき、始良市教育委員会外部評価委員会(以下「評価委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 評価委員会は、始良市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、その結果を答申するものとする。

- (1) 教育委員会の事務の点検結果の評価に関すること。
- (2) 教育委員会の委員の活動状況点検結果の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 評価委員会は、5人以内の評価委員をもって組織する。

2. 評価委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育、社会教育及び社会体育に知見を有する者
- (2) 芸術文化関係に知見を有する者
- (3) P T A連絡協議会代表者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 評価委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度末までとし、補欠評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長)

第5条 評価委員会は、会長1人を置き、評価委員の互選によりこれを定める。

2. 会長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。

(会議)

第6条 評価委員会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長が議長となる。

2. 会議は、評価委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3. 会議の議事は、出席評価委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第8条 この訓令に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この訓令は、平成22年3月23日から施行する。